

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科		
科目名称	からだと疾病実習Ⅱ						授業形態	実習	
科目コード	307400	単位数	1単位	配当学年	2年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	小川 恒夫								
授業概要	<p>解剖生理学の知識を定着させる事と、医療機関で行われる検査を理解する事を本実習の目的としている。</p> <p>からだと疾病Ⅰ、Ⅱの座学では教科書やプリントで解剖学や生理学を勉強した。臓器は立体的なもので教科書やプリントでは理解しにくい部分がある。人体や組織図をスケッチすることによって理解を深めてもらいたいと考えている。また血糖値測定など医療機関で行われる検査を実際に体験する事により、検査の目的や結果の評価の仕方を学んでもらいたいと考えている。</p> <p>実習で学んだ知識が医療現場でどのように役立つかを、病院での実務経験のある教員による説明を受けながら実習を行ってもらおう。</p>								
関連する科目	<p>本授業の履修前に受講することが望ましい科目：からだと疾病Ⅰ・Ⅱ、からだと疾病実習Ⅰ、臨床医学Ⅰ</p> <p>本授業の履修後に受講することが望ましい科目：臨床栄養学Ⅱ～Ⅳ</p>								
授業の進め方 と方法	<p>各臓器の解剖生理、病理について理解するために、模型や顕微鏡写真のスケッチ、課題の解決、国試問題の解答と言う流れで、学習する。</p> <p>さらに理解を深めるために、それぞれの臓器に関連する実験を適宜追加する。</p> <p>教科書だけだとわかりにくい部分があると思われるので、1年生の時に理解できていなかった部分を今回の実習で、理解するようにする。</p>								
授業計画 【第1回】	1. 血液について 解剖生理学および病理学を学ぶ								
授業計画 【第2回】	2. 腎臓について 解剖生理学および病理学を学ぶ								
授業計画 【第3回】	3. 感染症について 病原菌の種類について学ぶ								
授業計画 【第4回】	4. 検査、治療について 病院で行われる検査法、治療法について学ぶ								
授業計画 【第5回】	5. 皮膚について 皮膚感覚の実験を行い、皮膚に関する解剖生理、病理を学ぶ								
授業計画 【第6回】	6. 眼、耳 解剖生理、病理を学ぶ。								
授業計画 【第7回】	7. 情報伝達、恒常性について 細胞の情報伝達、からだの恒常性を司るメカニズムについて学習する。								
授業計画 【第8回】	8. 神経系について 解剖生理学、病理学について学ぶ								
授業計画 【第9回】	9. 代謝疾患について 糖尿病を中心とした代謝疾患について学ぶ。血糖値検査も体験してもらおう。								
授業計画 【第10回】	10. 血圧について 血圧を規定する因子について学び、条件を変えて血圧測定を行う。								
授業計画 【第11回】	11. 肝胆膵 解剖生理、病理を学習する。								

授業計画 【第12回】	12. 生化学検査の演習 血液検査の生化学検査について、患者さんのデータから疾患を推測する。
授業計画 【第13回】	13. 筋肉について 解剖生理、病理を学習する。
授業計画 【第14回】	14. アシドーシス、アルカローシス からだのpH がどのように規定されているかを学習する。
授業計画 【第15回】	15. まとめ レポートのチェック
授業の到達目標	各臓器についての解剖生理、病理を理解する。【知識・理解の獲得】 各臓器に関連した実験を行うことにより、知識を深める。【知識・理解の深化】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)/2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)
授業時間外の学修 【予習】	次の授業内容について教科書、1年生のプリント、実習のプリントを読んで来ること。(1時間程度)
授業時間外の学修 【復習】	その日に実習で勉強した内容を教科書やプリントを見て確認すること。(1時間程度)
課題に対する フィードバック	レポート、スケッチを採点后返却します。
評価方法・基準	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 総論、各論Ⅰ 各論Ⅱ 南江堂
テキスト	臨床検査ハンドブック 医歯薬出版
参考書	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 総論、各論Ⅰ 各論Ⅱ 南江堂 疾病の成り立ち：臨床医学[第4版] 田中明 著 (建帛社)
備考	